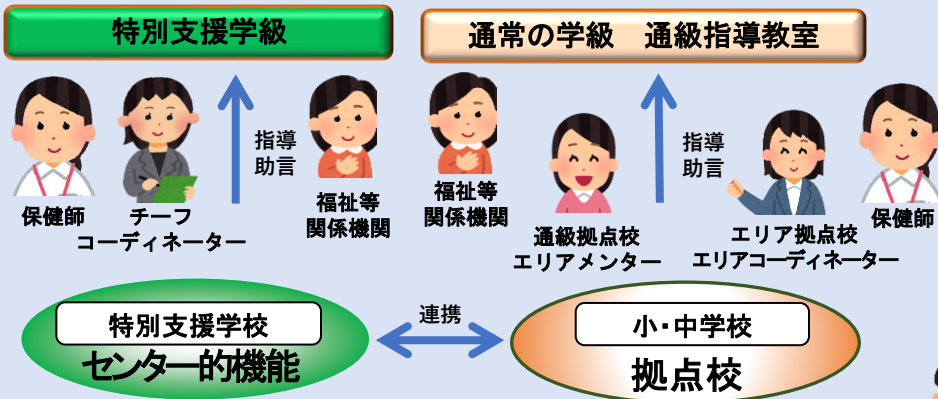
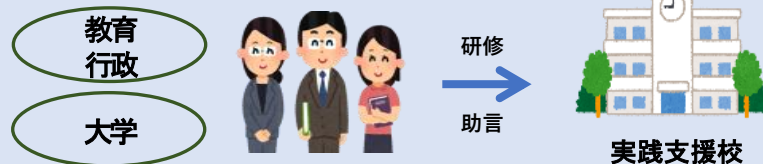


ア 学びの場ごとに焦点化した巡回支援



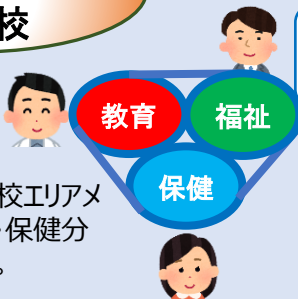
ウ 特別支援教育の視点に立った 学校経営構築の推進

特別支援教育に係る課題解決に学校全体で取り組む実践支援校を指定し、大学と連携しながら応用行動分析の手法を用いた具体的な校内支援体制の構築を推進する。



イ 上級コーディネーター養成研修

上記巡回支援を行う将来のチーフコーディネーター、通級拠点校エリアメンター、エリア拠点校エリアコーディネーターを養成するため、福祉・保健分野からも講師を招き、上級コーディネーター養成研修を実施する。



エ 授業のユニバーサルデザイン化 ハンドブックの実践とダイジェスト版の作成

通常の学級における特別支援教育の視点を生かした授業作りの在り方や工夫についてまとめたハンドブックの周知と活用を推進するため、活用事例を収集するとともに、ダイジェスト版を作成する。



② 教員の専門性向上のための研修等の機会の充実

ア 指導力・専門性の向上を図るエリア研修



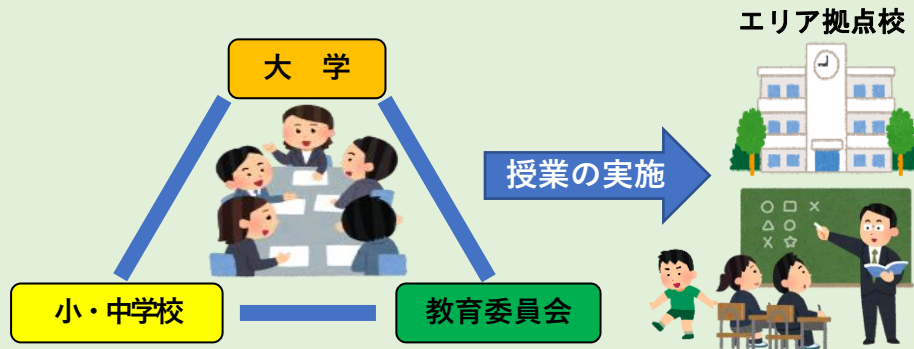
県内7つのエリアにおいて、各教育事務所担当指導主事が中心となり、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業改善や環境調整の在り方など、指導力を高める研修の充実を図る。

イ 関係機関との連携・協働（研修・会議）

教育・福祉・保健分野における担当者の連携と協働を目的として、相談支援ファイル及び個別的教育支援計画の活用促進検討のための意見交換を実施する。



③ 現状に即した教員養成課程における教授法の検討



小・中の教員をめざす学生に対して、特別支援教育に関する実践的な知識や技能を身に付けることができるよう、シラバスに反映させ、エリア拠点校において授業を実施する。